



2017年1月16日

報道関係者各位

エコマークアワード 2016 受賞者決定について



公益財団法人日本環境協会(東京都中央区、理事長:森嶋昭夫)は、2016年度のエコマークアワード受賞者を下記の通り決定しました。

エコマークアワード 2016 受賞団体・商品

金 賞	株式会社帝国ホテル 直営4ホテルすべてでエコマークを同時に取得 ～国際的ベストホテルを目指す企業として、快適性・安全性・利便性の追求と環境配慮を実現～
銀 賞	中央化学株式会社 エコマークを活用して繋がる店頭回収リサイクルの輪
特別賞	秋田県 大館市 地域資源を活用した循環型社会の展開
プロダクト・オブ・ザ・イヤー	ORPHIS FW(認定番号:15 155 054) 理想科学工業株式会社 グリーンライトバンド(認定番号:16 112 014) グリーンプラ株式会社

エコマークアワードとは

エコマークアワードは、日本環境協会が2010年度に創設した表彰制度です。

エコマーク商品をはじめとする環境配慮型商品(以下、エコマーク商品等)の製造、販売あるいは普及啓発等により、エコマーク事業の目的である「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与した企業・団体等の優れた取組みを表彰します。

「プロダクト・オブ・ザ・イヤー」では、2015年度および2016年度に認定されたエコマーク認定商品の中から、特に環境性能や先進性、エコフレンドリーデザインなどが優れた商品を表彰します。

表彰式について

表彰式は2017年2月27日(月)午後開催する「エコマークフォーラム」(会場:東京ウィメンズプラザ(東京都渋谷区))にて行います。当日は、受賞団体による受賞プレゼンテーションなどを予定しています。

*エコマークアワード受賞団体・商品の受賞評価ポイントは次ページをご覧ください。

<本件に関するお問合せ> 公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局 普及・国際協力課

Tel: 03-5643-6255 E-mail: kouhou@ecomark.jp URL: <http://www.ecomark.jp/>

エコマークアワード 2016 受賞評価について



【審査方法】

エコマークアワード(金賞・銀賞・特別賞)

2016年8月～10月の応募期間中、応募のあった団体の中から、エコマークアワード選考委員会による一次審査(書類審査)、および本審査(プレゼンテーション審査)を経て受賞団体を決定。

プロダクト・オブ・ザ・イヤー

2015年度、2016年度に認定されたすべてのエコマーク認定商品のうち、エコマークアワード選考委員会で評価を行い、特に環境性能や先進性、エコフレンドリーデザインなどに優れた商品を選定。

【受賞評価ポイント】

エコマークアワード 2016 金賞受賞

株式会社 帝国ホテル

直営4ホテルすべてでエコマークを同時に取得

～国際的ベストホテルを目指す企業として、快適性・安全性・利便性の追求と環境配慮を実現～

株式会社帝国ホテルは、日本を代表するホテルに相応しい最上級の“おもてなし”と、環境配慮を極めて高いレベルで両立させている。客室ゴミの20種類にも及ぶ分別や、エネルギー使用量の削減、食品廃棄物由来の肥料により育てた野菜などのメニューへの採用など、社内外の連携による環境活動を追求した結果、CO₂排出量や廃棄物の大幅な削減に成功している。大勢の従業員が働くホテルにおいて、「環境負荷を減らす」、「環境にいいことを増やす」、「活動を広く知ってもらおう」の考えのもと、全社横断的な体制で社内の課題や提案を集め、環境活動の領域を着実に広げてきた継続性と社員一人ひとりの高い志による努力も素晴らしい。国際的ベストホテルを目指す企業として、日本のホテル業界をリードするとともに、環境に配慮したサービス・おもてなしを海外にも発信していくものと期待する。

エコマークアワード 2016 銀賞受賞

中央化学株式会社

エコマークを活用して繋がる店頭回収リサイクルの輪

プラスチック製食品容器(トレーなど)を製造する中央化学株式会社は、小売店の店頭等にて使用済み食品容器の自主回収を進めるとともに、リサイクル技術の継続的な開発に取り組んでいる。このシステムで回収した発泡スチロールトレーを原料の一部に使用したエコベンチ(2001年にエコマーク認定を取得)は、消費者にも親しみやすく、店頭回収のリサイクルの輪を広げる優れた取り組みである。また、2015年にエコマーク認定を取得したCHUO A-PET GREENでは、透明のPET容器の原料に再生PET原料を使用するリサイクルに取り組み、設計上可能な商品にはエコマークを刻印し、消費者とのコミュニケーションに活用している。生産・物流部門の省エネ活動や環境会計の導入、出前授業や工場見学受入等の企業活動も高く評価された。

エコマークアワード 2016 特別賞受賞

秋田県 大館市

地域資源を活用した循環型社会の展開

かつて有数の鉱山地域であった大館市では、優れた鉱石処理技術を活用した数多くのリサイクル事業を積極的に推進している。これらの事業は、民間事業者との協働または市が主体となって展開されており、市民と行政が手を取り合って、循環型社会の形成に向けたまちづくりに取り組んでいるグッドプラクティスである。また、同市において全国に先駆けて収集実験が行われた使用済み小型家電リサイクルは、平成25年に施行された小型家電リサイクル法のモデルの一つとなった。市民へのエコマーク商品購入の推奨や、小・中学校や福祉施設、民間企業と連携したペットボトルキャップリサイクル事業、バイオディーゼル燃料の原料となる廃食用油回収事業、地域住民が多く参加するエコフェアの継続的な開催など、地域に根ざした活動も高く評価したい。

エコマークアワード 2016 プロダクト・オブ・ザ・イヤー受賞

ORPHIS FW(認定番号:15 155 054)

理想科学工業株式会社

ORPHIS FW は、オフィス、官公庁、学校で利用されている、高速インクジェットプリンタである。インクカートリッジおよび機器本体の回収・リサイクル等を推進し、国際エネルギースタープログラムの標準消費電力量の基準値を大幅にクリアするとともに、認定基準の策定当初は高速機では適合が困難とされていた揮発性有機化合物などの放散に関する基準値をクリアするために、長期に渡る研究開発を続け製品化した。さらには日本・エコマークとドイツ・ブルーエンジェルとの相互認証制度を活用しブルーエンジェルの認定を受けた最初の商品であり、国際的な市場への展開も期待される。また、本商品の後に発売された上位機種(ORPHIS GD)では世界最速レベルの印刷速度を誇るなど、高性能と環境性能の両立を実現する企業としての継続的な努力も高く評価された。

グリーンライトバンド(認定番号:16 112 014)

グリーンプラ株式会社

グリーンライトバンドは、市場から回収した使用済みのプラスチック(ポストコンシューマ材料)を 100%使用したPP バンドである。原料となるフレキシブルコンテナバッグは、工業薬品や飼料、食品等の大量輸送に適しているが、使用段階で様々な異物が混入して汚れてしまうため、使用済みとなった際、埋め立てまたはセメント原燃料として利用されることが多く、再生材料としての利用が難しい。受賞製品は、こうした利用しづらい廃棄物の再利用に取り組み、強度の確保や不純物や汚れの除去等の課題を解決し、製品化に結びつけた点が高く評価された。再生材料としてポストコンシューマ材料の利用が十分に進んでいない中、受賞製品の取り組みは先導的なものであり、業界や他社への波及効果も大いに期待ができる。

<本件に関するお問い合わせ>

公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局 普及・国際協力課

Tel: 03-5643-6255 Fax: 03-5643-6257

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16 馬喰町第一ビル 9F

E-mail: kouhou@ecomark.jp URL: <https://www.ecomark.jp/>